

## 阿智村セブンサミット事業

### 取組に至る背景・事業の目的

「セブンサミット」は、地球上にある7つの各大陸で最も標高が高い山を指し、これを制覇することは登山家のあこがれともされている。

これにあやかり、阿智村にある、日本百名山や信州百名山をはじめ、初心者でも楽しめる多様な山岳のうち、その代表格の7つの頂、恵那山・富士見台高原・大川入山・南沢山・蛇峠山・網掛山・高鳥屋山を「阿智セブンサミット」と名付け、そのすべてに登頂した人には、「阿智セブンサミッター」の称号を与えるという構想を立ち上げた。

これにより、1日/1回ではなく、7日間以上、阿智村に来て楽しんでもらう仕組みを作る。

### 事業内容

#### ○「阿智セブンサミット」のPR

パンフレットやポスターを作成し、村内外の観光施設やアウトドア用品販売会社の店舗等で掲示・配布し、「阿智セブンサミット」のPRを行った。

また、登山情報サイトへ特集ページをつくり、トレッキング愛好者をターゲットに事業の周知やイベント等を紹介した。

#### ○頂上及び登山口の看板整備

各山頂に「阿智7サミット」の看板を設置し、登山者に写真を撮ってもらうことで、阿智セブンサミッターの認定を行った。



【7サミット～富士見台高原～】

### 事業効果

初年度にも関わらず、7月から11月の5か月間で、59名のセブンサミッターを認定した。阿智セブンサミットを全て登頂するには、長期の滞在や複数回の訪問が必要なことから、再来村率が高まるきっかけとなった。

また、村内を回遊する仕組みができたので、今後、周辺の観光にも波及効果が期待できる。



【阿智セブンサミッター】



### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

「信州 山の日」の制定を契機として、それぞれの山で体験トレッキングイベントを行う等、県の取組とも連携して事業を展開した。

今後も引き続き、阿智セブンサミット事業を実施しながら、登山道の整備やササユリの種の散布による環境保全の取り組みを強化していくとともに、モニターツアーの実施や宿泊プランの造成等により、長期滞在の観光客を取り込む商品化を進めていく。

**【選定のポイント】**  
「信州 山の日」の制定を契機とした取組であり、新たな切り口で阿智村の山岳観光を発信した。「阿智セブンサミッター（7つの山に登頂した人へ贈呈する称号）」の贈呈者が59名にのぼったことは、本事業を立ち上げた大きな成果であり、滞在型観光やリピーターの増加に寄与した。

団体名	富士見台エコトレッキング委員会 (阿智村)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0265-43-2220	事業費	2,851,200円
	(事務局：阿智村協働活動推進課)	支援金額	2,075,000円